

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

## 教育方針

「自主・創造・連帯」の校訓のもと、自分の夢に向かって自発的に学習することや、部活動・学校行事を通じて仲間と協働することで、「知力、気力、体力」のバランスのとれた生徒を育成する。

- 1 学力向上と第一志望の進路実現をめざし、「チームさやま」として教職員が一丸となって、頑張る生徒を応援し課題を抱える生徒を支える学校
- 2 規律正しい生活習慣・学習習慣を確立し、あいさつ、掃除（整理整頓）、時間厳守（遅刻減少）をさらに徹底させ、他者への思いやりを身に付ける学校
- 3 国際交流（姉妹校連携）と地域連携（大阪狭山市唯一の高等学校）の双方に軸足を置き、「国際感覚を備えた地域に貢献できるリーダー」を育てる Glocal High School を推進する学校
- 4 いじめのない、一人ひとりに自分の居場所がある安心・安全な学校

## 2 中期的目標

## 1 さらに学力向上と進路保障

- (1) 新学習指導要領に則して「主体的・対話的で深い学び」をめざし、思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりに取り組む。
  - ア 調べ学習・グループワークを取り入れ、議論、発表を通じて思考力・判断力・表現力を向上させるとともに、「観点別学習状況の評価」についてさらに研究を進める。
    - \*思考の発芽（図書館・インターネットの活用）、思考の見える化（カードやホワイトボードの活用）、思考のゆさぶり（発表 / 質問 / 議論 / 助言）  
講義型授業から思考を引出し学習の深化を図る。
  - イ 配備された1人1台端末やプロジェクター等の ICT 機器を活用して生徒の興味・関心を引き出すとともに、教員と生徒又は生徒同士で対話のある授業を行うことで真の理解をめざす。
  - ウ オンライン学習の体制を充実させ、より理解の深まる配信ができるよう工夫を重ねる。
- (2) 第一志望を実現する進路指導を進め、個別指導、家庭学習指導の充実を図ることで、夢がかなう進路保障に結び付ける。
  - ア 生徒の進路希望を尊重したカリキュラムマネジメントを行い、主体的な学びや意欲的な学びを引き出す。
  - イ 受験用学習教材や模擬テスト、各種外部検定を活用し、3年間を通じた客観的な学力把握とデータに基づく精度の高い受験指導を行う。
  - ウ 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。
    - ※生徒向け学校教育自己診断「授業満足度」、「授業の工夫度」、「カリキュラム満足度」を令和6年度に3項目すべてにおいて85%以上をめざす。（「授業満足度」R1:77.5%、R2:78.7%、R3:82.0%）「授業の工夫度」（R1:83.9%、R2:83.6%、R3:89.3%）「カリキュラム満足度」（R1:77.7%、R2:81.2%、R3:86.6%）
    - ※進路ガイダンス/進学講習の充実を令和6年度まで85%以上の維持・向上をめざす。（R1:81.9%、R2:87.9%、R3:88.9%）
    - ※教職員向け学校教育自己診断「系統的な進路指導の実施」を令和6年度に80%以上に向上させる。（R1:67.3%、R2:53.8%、R3:72.3%）
    - ※国公立・関関同立 合格者のべ70人以上をめざす。（R1:39人、R2:38人、R3:41人）

## 2 キャリア教育のための環境づくり

- (1) 夢をえがく力、夢をかなえる力を養成し将来に向かって飛躍できるプログラムを展開する。
  - ア 「総合的な探究学習」や「道徳教育」を着実に実施し、将来を見据えた人格形成を促す。
  - イ SDGs（持続可能な開発目標）の視点をもった、国際交流及び地域連携を通じて人とかかわりを体験させる。
  - ウ 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。
  - エ 読書活動を推進する（ビブリオバトルをさらに活性化させ読書の質と量の向上を図る）。
    - ※生徒向け学校教育自己診断「キャリア教育満足度」を令和6年まで85%以上の維持・向上をめざす。（R1:81.9%、R2:87.9%、R3:88.9%）
- (2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。
  - ア すべての生徒に、基本的人権や人権問題の認識を広め、高い人権意識を育てる。
  - イ 1人1台端末を活用し、情報や情報技術を適切かつ安全に活用していくための資質・能力を身に付けさせる。
    - ※生徒向け学校教育自己診断「人権（人権の尊重）」の肯定的評価を令和6年まで85%以上の維持・向上をめざす。（R1:81.9%、R2:80.8%、R3:86.7%）
    - ※教職員向け自己診断「人権尊重に学校全体で取り組む」を令和6年度に80%以上に向上する。（R1:76.5%、R2:60.4%、R3:69.8%）
- (3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。
  - ア 担任、教科、部活動等の生徒情報を集約し、SCとも連携しながら、学校としての相談体制を明確にする。特に、長引く感染症の影響が生徒やその家庭に与える影響やヤングケアラーの実態については表面化しにくいことをふまえ、早期発見・把握に努め、適切な支援につなげる。
  - イ 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、部や生徒会執行部に所属していない生徒に活躍の場を与える工夫をする。
    - ※生徒向け学校教育自己診断「学校生活満足度」令和6年度まで90%以上の維持・向上をめざす。（R1:83.3%、R2:84.9%、R3:90.5%）
    - 同じく「相談体制満足度」を令和6年度まで70%以上の維持・向上をめざす。（R1:68.1%、R2:65.7%、R3:70.5%）

## 3 学校改革に向けての体制づくり

- (1) 教職員全員が参加する「チームさやま」体制を発展させる。
  - ア 教職員の人権意識を高め、いじめ・体罰・ハラスメント「0」を継続するために教職員研修を実施するとともに、組織的な対応を推進する。
    - 加えて、地震・台風等の自然災害、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症、食物アレルギー、熱中症等、生徒の安全や健康に関する情報の共有及び対応力向上に資する教職員研修を行う。
  - イ コロナ禍での教職員の業務の増加をふまえ、さらなる「働き方改革」を推進し、校務の精査と教職員の負担軽減、職務の平準化を図る。超過勤務の削減及び各種休暇の計画的取得を推進する。
- (2) 学校を取り巻く関係団体（PTA、同窓会、後援会、地域行政、地域住民）との関係強化と広報・情報発信に取り組む。
  - ア 「文化部フェスタ」「狭山カップ」等の実施により地域の中学生や市民の方々に狭山高校の魅力を発信し学校と地域の交流を深める。
- (3) 学校運営協議会の提言を具現化する。
  - ※教職員向け学校教育自己診断「学校運営の勤務充実度」を令和6年度に90%以上をめざす。（R1:81.1%、R2:85.5%、R3:85.2%）
  - ※保護者向け学校教育自己診断「学校満足度」を令和6年度まで90%以上の維持・向上をめざす。（R1:89.6%、R2:91.1%、R3:90.4%）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年11月実施分]	学校運営協議会からの意見																																																																										
<p><b>【1 学習指導】</b>                      生徒向けの質問項目のうち「本校の先生は教え方に様々な工夫をしていると思いますか」が 94.3% (+5p)、「本校の授業はあなたの期待に応えることができていると思いますか」は 89.3% (+6.7p) と、昨年度と比べて肯定的回答がさらに増加している。また、「本校のカリキュラムはあなたの興味、関心、適性、進路に応じた選択ができるものだと思いますか」は 87.7% (+1.1p) で、過去5年で最高であった昨年度をさらに上回った。(※下記一覧表)。引き続き、主体的・対話的で深い学びをめざした授業力向上を進めていきたい。</p> <p>※質問項目に「1 とてもそう思う」「2 どちらかといえばそう思う」の合計比率 (単位: %)</p> <table border="1" data-bbox="151 697 808 831"> <thead> <tr> <th>肯定的回答の比率</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の工夫</td> <td>78.9</td> <td>78.1</td> <td>83.9</td> <td>83.6</td> <td>89.3</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>期待に応える授業</td> <td>73.1</td> <td>65.1</td> <td>77.5</td> <td>78.7</td> <td>82.6</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>76.7</td> <td>72.3</td> <td>77.7</td> <td>81.2</td> <td>86.6</td> <td>87.7</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【2 進路指導】</b>                      進路指導に関する質問で、「あなたは進路実現に向けて、真面目に学習に取り組んでいますか」の肯定的回答は 85.3% (+7.4p) であった。学年別では1年生 81.7%、2年生 81.1%、3年生 93.1%で、2、3年生の経年変化を見ると、2年生は 70.8%→81.1%、3年生は 71.9%→69.7%、→93.1%と推移している。1年生は入学時より進路実現に向けての意識も高く、2・3年生においても昨年と比較して意識の上昇が顕著であった。引き続き意識を高めるための取り組みを実施していくことが肝要である。</p> <p><b>【3 高校生活】</b>                      (1) 高校生活の充実度及び教育相談体制                      「あなたは、本校でいきいきと充実した生活ができていると思いますか」に対して 92.9% (+2.4p) の生徒が肯定的回答をした。「あなたは本校で、友好的な人間関係を築けていると思いますか」に対しては 96.2% (+1.1p) が肯定的な回答で、そのうち 64.7%が「強く思う」としている。例年 85%~90%で高位安定している。本年度は臨時休業もなく、普段の学校生活が戻りつつある中で、様々な経験から友人とのつながりを強く意識しているのかもしれない。</p> <p>「担任の先生以外で保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいますか」の問いには 78.6% (+8.1p) の肯定的回答であった。担任に対して何でも相談できる関係はおおむね築けていると感じているが、さらに担任以外の教員にも相談できる生徒が増加していることは喜ばしい。今後もさまざまな教員が1人の生徒に関わるような教育相談体制を構築する必要がある。(R1. 68.1%→R2. 65.7%→R3. 70.5)</p> <p>(2) 学校行事                      本年度は感染症対策を行いながら、クラスマッチや遠足をはじめとした学校行事は実施することができた。体育大会から体育祭に行事を変更するとともに生徒がより主体的な活動ができるような内容に変更し、保護者の応援も再開させる等コロナ禍前の盛り上がりとなり、生徒たちも満足するものとなった。修学旅行については2年生が11月下旬石垣島へ3泊4日の日程で実施した。天候にも恵まれ、生徒にとって良い思い出となった。文化祭は当初の開催の予定で開催した。感染対策として、保護者は招待制で入場を許可し、盛大なものとなった。感染者も出ることなく、感染対策について一定の効果があつたと考える。3年生は伝統的にクラス劇をしているが、どのクラスも工夫を凝らした劇を作り上げていた。保護者の入場も制限を加えながら可とし、感染者が出ることもなく無事に終えることができた。2月の耐寒行事について、1年生は大阪狭山市内のフィールドワーク、2年生は校内でのスポーツ大会に企画を変更し実施する予定。本年度、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、以前の教育活動ができるようになってきている。</p> <p>(3) 部活動                      生徒向けの「あなたは、部活動に積極的に取り組んでいると思いますか」の質問に対して、74.5% (+2p) が肯定的回答であった。運動系・文化系合わせて約 85%の加入率も含め勘案すると、コロナ禍の昨年に対して一昨年の水準に回復し、部活動も少しずつではあるが大会の参加も可能になって活躍できていることが大きい。対外試合や発表会を通じて多くの体験を積むことができること、高校時代の部活動でしか経験できない先輩、後輩、顧問の教員、外部指導者、他校の生徒などとの広い範囲の人間関係を学ぶことは、社会人になった時に大きな財産になるので、引き続き、加入率を上げることと生徒の積極的な取り組みが促進するよう注力する。教員向けの「本校では生徒が充実感を得られるように部活動を運営していると思いますか」は 92.9% (-1.6p) であった。</p> <p>(4) 国際交流                      感染症の影響で、今年度も2つの姉妹校(豪州の Carey 校と韓国の景福高校)との対面での交流ができない1年であったが、景福高校とのオンライン交流を6月(本校生徒 20名)、10月(本校生徒 15名)の2回開催</p>	肯定的回答の比率	H29	H30	R1	R2	R3	R4	授業の工夫	78.9	78.1	83.9	83.6	89.3	94.3	期待に応える授業	73.1	65.1	77.5	78.7	82.6	89.3	カリキュラム	76.7	72.3	77.7	81.2	86.6	87.7	<p>第1回 (6月28日・本校会議室)                      [スクール・ミッションについて]                      ・校長より                      ミッションとは本校の使命、ポリシーとは本校の方針。(資料を使って説明) 12月に府教育庁に提出。                      [スクールミッションに係る狭山高校の良さについての意見交換]</p> <p>・(生徒は) 真面目にキチンとしている。                      ⇒表現を派手にし、教える側の熱意をしっかりとアピールしていけば良い。                      ・グローバルという学校の方向性はすごく良いこと。そこを全面に出していけば良いのではないかと。                      ⇒中学でも狭山高校の魅力を聞いてみてほしい。</p> <p>・先生方にアンケートをとっても、先生方にとって当たり前のことが狭山高校の良さになっているかもしれないので、生徒に聞いてみるのもおもしろいのではないかと。                      ⇒2学期に実施する予定。</p> <p>・大阪狭山市も中学生がみんな受けたいような学校にする思いでミッションを策定していけば良い。</p> <p>・公立高校でミッションをどうまとめるかは難しいと思うが、よろしくお祈りします。</p> <p>第2回 (11月17日・本校会議室)                      前回の協議会からのアドバイスを受け生徒・保護者・教員にスクールミッションについてのアンケートを実施。</p> <div data-bbox="966 1231 1963 2018"> <p><b>卒業後に付けてほしいもの (生徒回答)</b></p> <table border="1"> <tr><td>学習</td><td>8%</td></tr> <tr><td>コミュ</td><td>19%</td></tr> <tr><td>自主性</td><td>42%</td></tr> <tr><td>社会性</td><td>21%</td></tr> <tr><td>進路</td><td>10%</td></tr> <tr><td>他</td><td>0%</td></tr> </table> <p><b>卒業後に付けてほしいもの (保護者回答)</b></p> <table border="1"> <tr><td>自主性</td><td>58.47%</td></tr> <tr><td>社会性</td><td>30.25%</td></tr> <tr><td>貢献</td><td>25.20%</td></tr> <tr><td>コミュ</td><td>10.8%</td></tr> </table> <p><b>どんな生徒を育てる学校であってほしいか (生徒回答)</b></p> <table border="1"> <tr><td>自主性</td><td>59%</td></tr> <tr><td>社会性</td><td>30%</td></tr> <tr><td>礼節</td><td>5%</td></tr> <tr><td>進路</td><td>0%</td></tr> <tr><td>他</td><td>1%</td></tr> <tr><td>学習</td><td>3%</td></tr> <tr><td>コミュ</td><td>2%</td></tr> </table> <p><b>どんな生徒を育てる学校であってほしいか (保護者回答)</b></p> <table border="1"> <tr><td>自主性</td><td>72.54%</td></tr> <tr><td>社会性</td><td>12.9%</td></tr> <tr><td>人間性</td><td>23.17%</td></tr> <tr><td>コミュ</td><td>8.6%</td></tr> <tr><td>責任感</td><td>8.6%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>10.8%</td></tr> </table> </div> <p>・卒業後、どんな力をつけたいかという質問に生徒も保護者も自主性が一番多い回答だった。                      ・グローバルセンスとローカルセンスを兼ね備えた生徒を育てたい。</p> <p>[主な意見・質問等]                      ・これからの社会にはファシリテーションが必要。これがポリシーというフォローシップなのか。                      ・カリスマ性リーダーは協調性がなく、これからのリーダーは、パートナーシップの構築がキーワード。単純に誰かの上に立つリーダーではなく、協働的に課題を解決していく力をつけてほしい。</p> <p>・協調性より自主性をつけたいという意見が多いのは意外だった。                      ⇒協調性を身につけている生徒が多いので、自主性をつけたいのではないかと。</p> <p>・その場の課題を見抜き、自分に何が出来るのかを考え行動できるのがリーダー。</p> <p>第3回 (2月27日・本校会議室)                      [学校教育自己診断結果について]                      ・今年の生徒のアンケート結果についてほぼ全ての項目が上昇している要因は何か→多様な要因があると考えられるため調査をすすめる。                      ・主体的対話的な深い学びについて</p>	学習	8%	コミュ	19%	自主性	42%	社会性	21%	進路	10%	他	0%	自主性	58.47%	社会性	30.25%	貢献	25.20%	コミュ	10.8%	自主性	59%	社会性	30%	礼節	5%	進路	0%	他	1%	学習	3%	コミュ	2%	自主性	72.54%	社会性	12.9%	人間性	23.17%	コミュ	8.6%	責任感	8.6%	その他	10.8%
肯定的回答の比率	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																					
授業の工夫	78.9	78.1	83.9	83.6	89.3	94.3																																																																					
期待に応える授業	73.1	65.1	77.5	78.7	82.6	89.3																																																																					
カリキュラム	76.7	72.3	77.7	81.2	86.6	87.7																																																																					
学習	8%																																																																										
コミュ	19%																																																																										
自主性	42%																																																																										
社会性	21%																																																																										
進路	10%																																																																										
他	0%																																																																										
自主性	58.47%																																																																										
社会性	30.25%																																																																										
貢献	25.20%																																																																										
コミュ	10.8%																																																																										
自主性	59%																																																																										
社会性	30%																																																																										
礼節	5%																																																																										
進路	0%																																																																										
他	1%																																																																										
学習	3%																																																																										
コミュ	2%																																																																										
自主性	72.54%																																																																										
社会性	12.9%																																																																										
人間性	23.17%																																																																										
コミュ	8.6%																																																																										
責任感	8.6%																																																																										
その他	10.8%																																																																										

府立狭山高等学校

<p>することができた。1人1台端末を活用したMEETによる交流を実施した。緊張しながらも交流を楽しめたという感想が多く、国際交流に興味をもっている生徒のニーズに答えられるような企画として3月に韓国へのスタディツアーを企画するとともに、全校生徒へ広げる工夫をしていきたい。「本校が行っている語学研修等の国際交流事業は魅力があると思いますか」は72.2% (+2p)であった。</p> <p>(5)地域ボランティア</p> <p>今年度は「狭山池まつり」が開催され、多くの文化部の参加、運動部の準備等の参加によって盛況となった、1月の大阪狭山市公民館のイベントに本校文化部が参加するなど、連携の機会を増やすことができた。1月に大阪狭山市との連携協定を締結し、更なる交流が創出されると考える。本年度も総合(家庭)の授業での手話講座と保育所訪問、更に学校内での園児との交流が実現し、生徒にとっても良い経験となった。狭山池の清掃活動(クリーンアクション)は、部活動の生徒を中心に年間通じて約400人以上が参加している。今年度も生徒会役員等部活動以外の生徒の参加もあり、地域の実行委員の方に良い取組であるとの言葉をいただいた。「あなたは本校の地域清掃や地域連携活動でボランティア精神が高まったと思いますか」の質問に対する肯定的回答は75.4%(+7.4p)となり、コロナ禍での活動の制限緩和に伴い、生徒の意識の向上にもつながっている。大阪狭山市唯一の高等学校であり、今後とも生徒の自主的な地域連携を積極的に支援したい。</p>	<p>→中学校ではお膳立てが必要、生徒が成功体験を得ることで主体的に学ぶようになる(委員より)</p> <p>→高校でも中学校を参考に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設設備について否定的な意見がみられる</li> </ul> <p>→プロジェクター等授業機器やトイレの老朽化が課題だが、リーディングGIGAハイスクール研究校に選ばれプロジェクター等は一新され、トイレの改修についても順次おこなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携について</li> </ul> <p>→子ども祭りに狭山高校生が参加し創意工夫が素晴らしいと感じた(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外交流について</li> </ul> <p>→地域交流を含め普段接することのない人たちとの交流や体験が大事なのでぜひ進めてほしい(委員より)</p> <p>[令和5年度計画について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディングGIGAハイスクールについて詳細を説明</li> </ul> <p>→教室のプロジェクターと黒板を入れ替え(普通教室全て)</p> <p>→遠隔地の生徒への授業配信</p> <p>→1人1台端末の活用</p> <p>→3年間研修や公開授業を実施し授業力の向上と生徒の主体的対話的学びを進めていく</p> <p>→ただプロジェクターで資料を投影するのみでは授業として進歩がない、生徒の端末との連携を含め、対面授業ではできない良さを出していくことが重要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流について</li> </ul> <p>→コロナも落ち着き、韓国へのスタディツアーも再開した。形だけでなく生徒が将来につながる体験をすすめてほしい(委員より)</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R3年度値]	自己評価
1 さらなる学力向上と進路保障	<p>(1) 新学習指導要領に則して「主体的・対話的で深い学び」をめざし、思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりに取り組む。</p> <p>(2) 第一志望を実現する進路指導を進め、個別指導、家庭学習指導の充実を図ることで、夢がかなう進路保障に結び付ける。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 調べ学習・グループワークを取り入れ、議論、発表を通じて思考力・判断力・表現力を向上させるとともに、「観点別学習状況の評価」についてさらに研究を進める。</p> <p>イ 配備された1人1台端末やプロジェクター等のICT機器を活用して生徒の興味・関心を引き出すとともに、教員と生徒又は生徒同士で対話のある授業を行うことで真の理解をめざす。</p> <p>ウ オンライン学習の体制を充実させ、より理解の深まる配信ができるよう工夫を重ねる。</p> <p>(2)</p> <p>ア 生徒の進路希望を尊重したカリキュラムマネジメントを行い、主体的な学びや意欲的な学びを引き出す。</p> <p>イ 受験用学習教材や模擬テスト、各種外部検定を活用し、3年間を通じた客観的な学力把握とデータに基づく精度の高い受験指導を行う。</p> <p>ウ 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒向け学校自己診断結果の授業満足度80% [82.0%]</li> <li>・生徒向け学校自己診断結果の授業の工夫度80% [89.3%]</li> <li>・授業アンケートの教員平均3.3 [3.4]</li> <li>・各教科における「主体的・対話的深い学び」の研究授業実施</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・生徒向け学校自己診断結果のカリキュラム満足度 80% [86.6%]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員向け学校自己診断結果の系統的な進路指導 80% [72.3%]</li> </ul> <p>イ・生徒向け学校自己診断結果のキャリア教育満足度 80% [88.9%]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学・関関同立合格者：延べ70人以上 [41人]</li> <li>・狭山将来構想PTによる改革引き続き、進路実績向上をめざしてカリキュラム、補習、部活動・行事・広報を含めた学校運営全般の見直し及び改革を行う。</li> </ul>	<p>(1) 授業力向上システムを構築し、授業見学週間及び授業力向上研修を実施。授業力向上につながった。</p> <p>ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業満足度 89.3% [82.0%] (◎)</li> <li>・授業の工夫度 94.3% [89.3%] (◎)</li> <li>・授業アンケート平均 3.43 [3.4] (○)</li> <li>・授業見学週間にて研究授業を実施 (○)</li> </ul> <p>(2) 生徒の進路希望に応じつつ、主体的な学びを引き出すカリキュラムマネジメントにより満足度は上がった。系統的な進路指導について一層充実していく必要がある。受験指導として、国公立大学・難関私立大学ゼミを次年度より実施予定。進路実績向上の改革を進める。</p> <p>ア・カリキュラム満足度(生徒) 87.7% [86.6%] (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的な進路指導(教職員) 68.1% [72.3%] (△)</li> </ul> <p>イ・キャリア教育満足度(生徒) 94.4% [88.9%] (◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学・関関同立合格者：延べ46人</li> <li>・狭山将来構想PTを時間割内に組み込み毎週水曜日1限目に会議を実施した。スクール・ミッション策定、体育祭や修学旅行などの学校行事の在り方など学校運営全般の見直しや提言を行うことができた。</li> </ul>

## 府立狭山高等学校

<p>2 キャリア教育のための環境づくり</p>	<p>(1) 夢をえがく力、夢をかなえる力を養成し将来に向かって飛躍できるプログラムを展開する。</p> <p>(2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。</p> <p>(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。</p>	<p>(1) ア 「総合的な探究学習」や「道徳教育」を着実に実施し、将来を見据えた人格形成を促す。 イ SDGs（持続可能な開発目標）の視点をもった、国際交流及び地域連携を通じて人とのかかわりを体験させる。 ウ 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。 エ 読書活動を推進する（ビブリオバトルをさらに活性化させ読書の質と量の向上を図る）。</p> <p>(2) ア すべての生徒に、基本的人権や人権問題の認識を広め、高い人権意識を育てる。 イ 1人1台端末を活用し、情報や情報技術を適切かつ安全に活用していくための資質・能力を身に付けさせる。</p> <p>(3) ア 担任、教科、部活動等の生徒情報を集約し、SCとも連携しながら、学校としての相談体制を明確にする。特に、長引く感染症の影響が生徒やその家庭に与える影響やヤングケアラーの実態については表面化しにくいことをふまえ、早期発見・把握に努め、適切な支援につなげる。 イ 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、部や生徒会執行部に所属していない生徒に活躍の場を与える工夫をする。</p>	<p>(1) イ・生徒向け学校自己診断結果の「ボランティア意識」70% [68.0%] ・生徒向け学校自己診断結果の「国際交流の魅力」80% [70.4%] ・狭山池クリーンアクションへの参加人数のべ500人 [約200人] エ・ビブリオバトル本大会出場をめざす。[参加せず]</p> <p>(2) ア・生徒向け学校自己診断結果の人権意識80% [86.7%] ・教職員向け学校自己診断結果の人権への取組み80% [41.3%]</p> <p>(3) ア・生徒向け学校自己診断結果の教育相談満足度75%以上 [70.5%] ・保護者向け学校自己診断結果の相談体制満足度85%以上 [73.3%] ・教職員向け学校自己診断結果のカウンセリングマインド80%以上 [81.1%]</p>	<p>(1) 地域連携の多くの取り組みが復活して実施。韓国姉妹校とオンラインによる交流を行った。3月末に韓国スタディツアーを実施予定。 イ・「ボランティア」75.4% [68.0%] (◎) ・「国際交流の魅力」72.2% [70.4%] (○) ・狭山池クリーンアクション参加人数のべ約420人 [500人] 3月24日段階 (?) エ・ビブリオバトル本大会出場をめざす。[校内で学年ごとに実施。本年度は本大会には参加せず] (△)</p> <p>(2) 生徒向け人権公演を実施。同和問題を学ぶFWを実施。 ア・人権意識92.2% [86.7%] (◎) ・教職員向け人権への取組み62.8% [41.3%] (○)</p> <p>(3) 生徒情報を集約し、SCと連携しながら教育相談、支援につなげた。また、ヤングケアラー調査にもとづいて実態把握に努めた。次年度から教育相談支援委員会として、支援体制を充実させる予定。 ア・教育相談満足度(生徒)78.6% [70.5%] (◎) ・教育相談体制満足度(保護者)75% [73.3%] (○) ・カウンセリングマインド(教職員)77.1% [81.1%] (△)</p>
<p>3 学校改革に向けての体制づくり</p>	<p>(1) 教職員全員が参加する「チームさやま」体制を発展させる。</p> <p>(2) 学校を取り巻く関係団体（PTA、同窓会、後援会、地域行政、地域住民）との関係強化と広報・情報発信に取り組む。</p> <p>(3) 学校運営協議会の提言を具現化する。</p>	<p>(1) ア 教職員の人権意識を高め、いじめ・体罰・ハラスメント「0」を継続するために教職員研修を実施するとともに、組織的な対応を推進する。 加えて、地震・台風等の自然災害、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症、食物アレルギー、熱中症等、生徒の安全や健康に関する情報の共有及び対応力向上に資する教職員研修を行う。 イ コロナ禍での教職員の業務の増加をふまえ、さらなる「働き方改革」を推進し、校務の精査と教職員の負担軽減、職務の平準化を図る。超過勤務の削減及び各種休暇の計画的取得を推進する。</p> <p>(2) ア 「文化部フェスタ」「狭山カップ」等の実施により地域の中学生や市民の方々に狭山高校の魅力を発信し学校と地域の交流を深める。</p>	<p>(1) ア・生徒向け学校自己診断結果の「いじめへの対応」80%以上 [87.8%] ・教職員向け学校自己診断結果のいじめへの対応80% [86.8%]、危機管理80% [81.2%] ・地震・火災を想定した年2回の防災訓練時に台風も含めた命を守る防災教育を実施する。[図上2回] ・感染症、熱中症、食物アレルギーなど生徒の健康・安全予防に関する職員研修を最低年3回実施する。[1回] イ・教職員向け学校自己診断結果の勤務の充実度85% [85.2%]</p>	<p>(1) SCとの連携、担任会・教育相談委員会の連携により様々な対応を迅速に行っている。 ア・「いじめへの対応」(生徒)90.9% [87.8%] (◎) ・「いじめへの対応」(教職員)87.2% [86.8%] (○)、危機管理(教職員)83.4% [81.2%] (○) ・地震・火災を想定した年2回の防災訓練を実施 (○) [2回] ・生徒の健康・安全予防に関する職員研修を3回実施 (○) イ・勤務の充実度(教職員)95.7% [85.2%] (◎) (2) 大阪狭山市との包括連携協定を締結。地域連携の取り組みが復活しつつあり、多くのクラブが参加した。本校の魅力発信につながっている。 文化部フェスタを実施、男子バスケットボール部が狭山カップを実施。(○)</p>